

第 期第 5 回斜面工学研究小委員会議事録(案)

日時：平成 18 年 5 月 11 日（木） 16:30～17:30

場所：土木学会 F 会議室

出席者：後藤委員長、稲垣副委員長、岩佐、伊藤、太田、上杉、上野、釜井、平田、鈴木、青木、小川、中野、中濃、野田、吉田、築瀬、佐々木(寧)、金井、小嶋の各委員（20 名）

1．委員長挨拶

後藤委員長から開会の挨拶があった。

2．第 4 回斜面工学研究小委員会議事録(案)の確認

資料 5-1 の説明があり、了承された。

3．WG 活動報告

資料 5-2 より、吉田 WG 長から説明があった。内容は以下のとおりであり、了承され、今後とも巡検や講習会を進めていくことになった。

- ・平成 18 年 3 月 4 日、災害WG主催で川崎巡検を実施。こうした内容を、広報・普及 WG では講習会などに利用する予定。
- ・各委員の協力の下、新聞や雑誌などで、“知っておきたい斜面のはなし Q & A ” の書評や本の紹介が行われた。こうした宣伝効果もあり、増刷 1000 部が早々に決定された。
- ・教科書として長崎大学「地球と惑星の科学(全学教育科目、平成 18 年度後期開講)」の講義に本年度利用される。
- ・小嶋委員のご尽力により、“「知っておきたい斜面のはなし Q&A-斜面と暮らす-」の PR 用パンフ”を作成。
- ・5 月 11 日、“「知っておきたい斜面のはなし Q&A - 斜面と暮らす-」に関する東京講習会”を開催。
- ・長谷川委員を中心としたご尽力により“土砂災害に関する講習会「巨大化する台風、来るべき南海地震、近くの斜面は大丈夫か！」(案)”が平成 18 年 6 月 29 日(木)に開催される予定。
- ・秋の 9 月ごろに、横浜の自治体と協賛し市民講座の形で行うことで、現在、吉田WG 長を中心に準備中。

4．一般書 Q&A の広報活動（資料 5-3）

平成 18 年 4 月 27 日時点：2000 冊のうち、残部が 426 冊で、1000 冊の増刷が決定された。修正内容については、PDF の形で、平成 18 年 5 月 15 日（月）までに、後藤委員

長にメール (goto@ccn.yamanashi.ac.jp) する。途中まで、委員長・上野wgのチェック済み。築瀬委員のところの図の矢印の変更、橘さんの御蔵島の写真の差し替えを行う。

現在各委員の尽力で以下の書評が載っている。

月刊誌「生活と環境」 平成 18 年 3 月号

環境新聞 平成 18 年 3 月 15 日

土と基礎(地盤工学会学会誌) 平成 18 年 3 月号

地質と調査 2006 年第 1 号

日本地すべり学会誌 第 42 巻第 2 号

砂防学会誌 第 58 巻第 6 号

応用地質(日本応用地質学会学会誌) 平成 18 年 4 月(第 47 巻第 1 号)

今後、基礎工・測量・地質ニュース・農業土木学会誌に掲載予定。農業土木学会誌については青木委員が確認する。

今後の活動としては、朝日新聞に載せる。これは委員長対応。また、今後開かれる四国・横浜の講習会での販売と小嶋委員作成のパンフの活用を確認した。

5 . WG 活動について (資料 5-7,8)

稲垣副委員長から資料 5-7 にもとづいて説明があった。「斜面のはなし」をベースにして重点研究や巡検資料を加え、教科書的なものを成果にしてはどうか。不足のものについては、追加の巡検や話題提供を行う。続いて、後藤委員長より資料 5-8 にもとづいて説明があった。教科書的な「総合斜面工学」の共同執筆。内容は基礎編・応用編・事例編の全 3 巻はどうか。

審議の結果以下のようになった。

- ・ 教科書といっても、重たいものは需要がないので、新書的なものにする。
- ・ 内容は、全体を基礎・事例にするか、項目ごとに分冊にするか検討の余地がある。
- ・ 新書編集wgを募って活動をはじめ。メンバーは、当面、委員長・副委員長・幹事・上野wg長・佐々木(寧)wg長・太田HP担当で始める。
- ・ 新書を出す場合には、シンポなどは開かない。

6 . 平成 17 年度「重点研究課題：新潟県中越地震調査」について (資料 5 - 4)

ほとんど完成しており、最終校正に入っている。各委員 HP から報告書案をダウンロードし、校正を 5 月 22 日までに委員長に送る。

現在、白黒で考えているが、費用が許すならカラーの口絵写真を採用したい。この場合少なくとも位置図はカラーにしたい。また、フルカラーのものを多少用意するのがよい。将来的には新聞出版社などに掛け合いフルカラーの出版物にすることも考えてもよい。

7 . 全国大会研究討論会について (資料 5-6)

開催日：平成 18 年 9 月 20 日(水)～22 日(金)、開催場所：立命館大学 びわこ・草津キ

キャンパス（滋賀県草津市野路東1丁目1-1）、開催候補日：平成18年9月22日（金）午前中10時半からのセッション希望（委員長が確認する）：参考 火山工学のセッションが22日（金）の午後に開催される。

内容は以下でエントリーした。ただし、佐々木（寧）委員の代わりに太田委員を追加する。

題 目	座長および話題提供者		
	新潟県中越地震における「斜面複合災害」 総合的斜面工学からの検討 地盤工学委員会 斜面工学研究小委員会	座長	後藤 聡
話題提供者		稲垣秀輝	(株)環境地質
		上野将司	応用地質(株)
		櫻井正明	(財)林業土木コンサルタンツ技術研究所
		小川紀一郎	アジア航測(株)
		中野裕司	中野緑化工技術研究所
		大野博之	長崎大学
2004年10月23日に発生した新潟県中越地震による斜面災害は、第三紀層地すべり多発地帯の豪雪地域で発生したもので、今後数年間～数十年間の時間経過をおって、降雨や融雪および余震等の誘因が相乗的に影響する「斜面複合災害」が発生する可能性が高いと考えられる。一方、21世紀の斜面工学は、斜面の力学的安定だけでなく、防災、維持管理、環境・生態系、景観・計画等の「総合的斜面工学」からの検討が必要である。そこで、地震直後の斜面災害の状況および融雪や降雨等を経た約2年間の状況について、総合的斜面工学の見地より現地調査を数回実施した。これらの現地調査結果を題材にして、これからの山間地での地震災害の軽減・予防や復旧・復興のあり方等について、広く討論する。			

8. 平成18年度新潟県中越地震調査について

調査メンバーに、必要資料を配布し、調査に当たっての注意点など話し合った。調査は、5月12, 13, 14, 15日である。

9. 次回委員会

2006年7月7日（金）13:30より土木学会にて、法律特集の話題提供（本城先生、釜井委員、小嶋委員）

配布資料

- 資料5-0. 第5回斜面工学研究小委員会出欠表
- 資料5-1. 第4回委員会議事録(案)
- 資料5-2. WG活動報告
- 資料5-3. 一般書「斜面のはなし」の広報・普及活動について
- 資料5-4. 平成17年度「重点研究課題：新潟県中越地震調査」の報告
- 資料5-5. 平成18年度新潟県中越地震調査について
- 資料5-6. 全国大会研究討論会について
- 資料5-7. 今後の成果のたたき台
- 資料5-8. 第2期成果案